



あすか とど えな すきまい
明日香へ届け! 恵奈の次米

次^{すきまい} 恵奈の里 米抜き穂祭

次米みのり祭 第二幕

歌って、踊って伝える
恵那のお米物語

午前10時
開催

令和8年 9月19日(土)

会場:長島町正家斎田(円通寺前)



春に植えた「恵奈の次米」(献上米)が、
収穫の時を待っています。
1349年目の恵奈の次米。

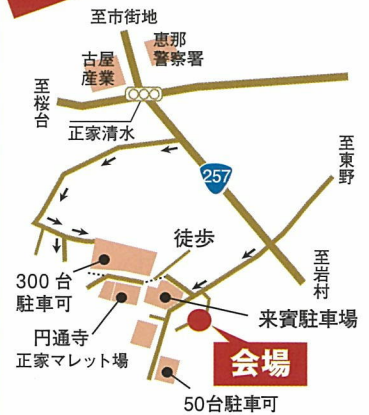


今年も豊作!
お米を食べよう!!

栗ごはん、五平餅、鬼まん、
恵奈次米しょうげの米、
大福もち、からすみ、
等々

お祭りの
会場の

長島町正家斎田
(円通寺前)



※駐車台数には限りがございます。
また会場周辺は大変混雑しますので出来る
限りお乗り合わせでお願いします。



どお〜んと!!

100^{うす}
大餅投げ

次米が当たる!

写真コンテストも開催!!

次米みのり祭[第一幕~第五幕]に
関する写真を募集致します!!

詳細は裏面をご覧ください



主催 恵奈の里 次米みのりまつり実行委員会 共催 ENAみのりのみのり祭実行委員会

後援 恵那市、恵那商工会議所、東美濃農業協同組合、(一社)恵那市観光協会

助成 恵那市地域まちづくり活動補助金、(公財)伊藤青少年育成奨学会、十六銀行、
恵那社会福祉事業協力会、岐阜信用金庫、(公財)とうしん地域振興協力基金、夢屋恵那店

協力 正家区

お問い合わせ窓口

恵奈の里 次米みのりまつり実行委員会
(恵那市役所 観光交流課内)

TEL 0573-26-6830

<http://www.ena-sukimai.com>

恵奈の里 次米みのり祭

テーマは「祭り・振る舞い・伝承」

いにしえより恵那は豊かな水と土に恵まれ、米作りが盛んでした。奈良県明日香村にある飛鳥池遺跡で発見された木簡には、677(天武6)年に恵那産の米が次米として朝廷に献上されていたことが記されています。

また、当時の都から強い影響を受けて造営された「正家廃寺」の存在など、東国支配の要所として朝廷がこの地を重んじていたことが伺えます。

「米の収穫」を通じて、地域の再発見と次世代へ歴史・文化の伝承を行っていきます。

すきまい 次米とは…

天皇が全ての神々にささげて収穫を感謝する祭事に使用する米のこと。
この神事は重要な儀式とされていました。



「写真コンテスト」応募募集!

次米みのり祭[第一幕～第五幕]に関する写真を募集致します!!

【応募期限】令和8年10月12日(月)～10月16日(金)

【提出形式】jpg形式データをUSBメモリにて、「題名_氏名」をファイル名にして提出。お一人様2点まで。
※ファイル名が不備の場合は受付できません。

【提出先】恵那市役所内長島振興室(恵那市役所 北庁舎内)

【入選発表】令和8年10月23日(金)

【賞品】最優秀賞1点、優秀賞5点にはそれぞれ次米5kgと表彰状

【備考】・入選者には本人宛に直接通知します。
・入選作は東美濃農業祭にて展示(予定)します。
・著作権は実行委員会に帰属します。

恵奈の里 次米拔き穂祭

会場配置図

配置や展示内容は当日変更になる場合がありますのでご了承ください。



販売内容

- からすみ、大福もち
- 五平餅、鬼まん
- 栗ごはん
- 恵奈次米 しょうげの米 等々

数量限定

第一幕～第五幕までのご紹介

第一幕

恵奈の里 次米お田植え祭 5/16(土) 済

第二幕

恵奈の里 次米拔き穂祭 9/19(土)

早乙女たちが次米みのり音頭に合わせて踊り、男衆がたわわに実った稲穂を刈り取ります。歌って踊って、秋の収穫に感謝しながら喜びを表します。



第三幕

恵奈の次米献納行列 (ENAみのじのみのり祭第1日目) 9/26(土)

“拔き穂祭”で収穫された新穀を次米として、恵奈郡の長官・恵奈の評督(こおりのかみ)に献納するシーンを再現。古代装束姿で白馬に乗った阿利麻と従者、次米の旗を先頭に新穀を積んだ山車を里人60人が引き、次米みのり音頭に合わせて踊り子が踊ります。



第四幕

お米の楽市 (ENAみのじのみのり祭2日目) 9/27(日)

お米をテーマにしたブースを出展します。

第五幕

恵奈の里から次米を 奈良・明日香に献納 10/8(木) 9(金)

毎年薬師寺(奈良市西ノ京町)が一山を上げて、686(朱鳥元)年の9/9(旧暦)に崩御した天武天皇を供養する法要「天武忌」を薬師寺の前庭で行います。この日に併せて恵奈の次米を天武天皇陵と薬師寺に献納します。

お問い合わせ

恵奈の里 次米みのりまつり実行委員会(恵那市役所 観光交流課内)

TEL 0573-26-6830